

北毛保健生協組合員現勢

2025年7月末時点
 組合員 18,538人
 出資金 7億5,805万円
 1人平均出資金 40,892円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう!

くらしと医療

発行所

北毛保健生活協同組合

〒377-0005 渋川市有馬237-1
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873
 発行責任者 阿久澤 咏
 編集責任者 くらしと医療編集委員会
 印刷所 上武印刷株式会社



お手伝いして下さった支部・職員の皆さん

**152世帯へ
食料提供**

事前登録状況は、166世帯、469人でした。登録方法には、前回に引き続きSNSを活用し約30%がQRコードで申し込みを行いました。他は、電話での申

物価高騰や生活不安が続く中で、地域の困ったに寄り添う第10回「なんでも相談会・フードパントリー」が7月20日に開かれました。今回も事前登録制とし、渋川北群馬医療圏及び群馬県北部地域にお住まいの方に限定して開催しました。

助け合いと協力の「ちから」を広げ 450人に食料品を提供 第10回なんでも相談会・フードパントリー開催

市民生活の現状

なんでも相談会は、事前に6人から希望がありました。当日の相談は出来ませんでした。しかし、事前登録のアンケートでは、40代女性から「お米が高くて買えない」、70代女性から「息子の仕事がなく困っている」、80代女性から「食料品が値上がりして食事の回数を減らしている」など切実な声も寄せられました。

申し込みでした。宣伝方法も、今回から渋川市、吉岡町、榛東村の協力を得て広報で紹介してもらい、より多くの方々にフードパントリーの開催をお知らせしました。当日は、152世帯、416人分の食料提供を行いました。後日来られなかった世帯にも連絡し、10世帯38人分を提供しました。

善意の輪さらに広がる

物価高騰やコメ不足でこれまで通りに支援物資が集まらない中でしたが、地域の農家、北毛保健生協の支部と組合員さんから野菜、コメの提供がありました。北毛保健生協労働組合では労働組合員に「ひとりコメ1合の提供」を呼び掛けました。県内の企業にも協力を要請し山崎製パン(株)、(株)トマル、正田醤油(株)、村岡食品工業(株)、UC

- 〈協力企業紹介〉
- ・山崎製パン(株)
 - ・(株)トマル
 - ・正田醤油(株)
 - ・村岡食品工業(株)
 - ・UC上島珈琲
 - ・コープぐんま
 - ・あおば薬局渋川店

たくさんの野菜も提供されました



世帯ごとに分けられた支援物資



山崎製パン(株)からゼリー 3000個もいただきました



支援物資を取りに来た人達

地域の「困った」みんなで乗り越えよう

実行委員会は、子どもた

ちの長期休み(夏と冬)中の家計の助けになってほしいと計画し、地域の「困った」に寄り添い、解決に向けて一緒に考えていきます。今後も自治体をはじめ多くの団体、企業、個人と連携し地域の「困った」をみんなの力で乗り越えていく輪をつくることも社会問題のひとつとして取り組んでいきたいと思えます。



熱中症対策として無料で提供したかき氷も大盛況

夏至が過ぎ、6月30日、茅の輪をくぐり、お菓子の水無月を頂く。夏越の祓です。

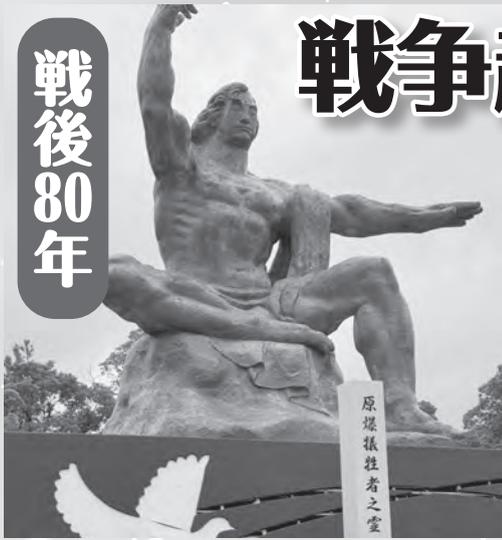
▼夏至が過ぎ、6月30日、茅の輪をくぐり、お菓子の水無月を頂く。夏越の祓です。
 ▼紫陽花に似合う雨を期待しながらも土砂降りに会ったり、体温超えの暑さに襲われたりと大忙しの半年が過ぎてしまいました。
 七夕、打ち水、朝顔、小暑に大暑、四季が二季になってしまいかも。速くなった、遅くなったりしながらも夏のあれやこれやがやってくる。今でいいのかな?なんて、あちらさまも気を使っていると思います。
 ▼地球の異変を気にしながらも、明日が来ることを疑わない日々。幸いにして日本は平和なのです。世界のあちこちで紛争が起きています。言いつ分はあろうけれど、犠牲となるのは、その国民です。面子で止められなくなったり、そのタイミングが計れなくて続いている。愚かとしか言いようがありません。

お盆の精霊の案内の提灯(ちようちん)。色付いた実をたんねんに揉んで、丁寧に種を取り出し、口に含んでそっとそっと音を出す。みんなのところに届きますように。
 榛(はし) つこくらし

戦後80年

戦争起こすな！核兵器なくせ！

2025原水爆禁止世界大会in長崎 8月7日～9日



長崎平和祈念像

北毛保健生協では、毎年原水爆禁止世界大会に代表派遣をしています。今大会は豊秋支部から2人、職場から2人が参加しました。

今回の長崎大会は全国から5000人が参加しました。国際会議では「被爆80年—いまこそ決断と行動を」と呼びかける国際会議宣言を採択されました。



折り鶴を届けました

声をあげ、続けていかなければ

老健ほくもう 真下 孝介

長崎の原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。被爆者の方々の当時の体験談を拝聴し、さらに日本、そして世界中の人々の平和への願いの強さを感じました。

また、原爆資料館も見学させて頂き、当時の貴重な資料や被爆当時の遺物を見て、いかに戦争・原爆というのが非道で恐ろしいものだったのか、被爆者の方々がどれだけ苦しんできたのかを痛感致しました。

今年は原爆80年の節目の年であり、今なお続く核兵器の脅威に対し、声を上げ続けていかなければならないと学びました。

北毛保健生協の代表者として被爆の実際を学び・広め、被爆者の声を広げていきたいと思ひます。私達の声がいつか日本の核兵器禁止条約への参加に繋がっていくと信じて日々頑張っていきたいと思ひます。

若者のとりくみ大きな力に

北毛病院 検査科 太田 真由美

被爆80年の節目となる今年、長崎で行われた世界大会へ参加してきました。

2日目に参加した分科会4：ストップ戦争準備・大軍拡では、全体として約150人が参加し、運動交流として24名の方からの発言がありました。

3日目のナガサキデー集会は、原爆が長崎県に落とされた11時2分に黙祷を参加者全員で行いました。

被爆80年が経過し、被災者の高齢化が進んでいます。

ハードスケジュールで、原爆資料館に行く時間だけが取れましたが、悲惨な現実にも胸が締め付けられる思いでした。しかし今回参加してみて、若い方の活動も多く報告され、原爆禁止に向け大きな力になっていくと感じました。小さな事でも大きな力になるよう継続しようと思ひます。

何かできることはないか

豊秋支部 斉藤 久美子

大会期間中、九州には線状降水帯が出ていましたが、私たちが行動する時間には傘をさすことも少なく助かりました。被爆80年長崎のつどいでは、体験者は高齢になり声にも衰えを感じて80年の月日の長さを思い、このままでは…何かできることはないのかと感じるところが大きかったです。

組合員の方々が折った千羽鶴を平和公園に掛けてきました。北毛保健生協のネームプレートもやさしい色合いでとても良かったです。

2日目、動く分科会「佐世保基地調査行動」に参加しました。案内して下さるご夫婦から丁寧なお話や説明をしていただきました。佐世保港につき、海上コースで湾内を一周しました。湾内はほとんどが米軍基地と海自の施設ばかりで、鉛色の軍艦がたくさん停泊していました。佐世保にも特攻隊「震洋」という部隊があったこと。震洋はベニヤ板でできたボートに250kgの爆弾を積んで敵艦隊に体当たりする水上特攻艇でした。未来ある若者がと思うと切なくなりました。もう一つが針尾送信所です。この送信所から「ニイタカヤマ・ノボレ」が送信されたそうです。

被爆・戦後80年の節目の年に参加して80年前と同じ悲劇を繰り返さないために、今生きる私達がなにをしなければいけないかを考えるきっかけとなり大変勉強させていただきました。次回の原水禁には若い世代の方に行ってもらい体験して欲しいと強く思いました。

新しい「戦前」をくり返さない

豊秋支部 角田 すみ江

8月7日、被爆者運動の歴史を語る今は亡き渡辺千恵子さん、山口仙二さん、谷口稔暉さんの映像、また、13歳で被爆した日本被団協の田中照巳さんの証言、長崎の被爆者運動とたたかいが報告されました。

8日の分科会は「ストップ戦争準備・大軍拡・守ろう平和とくらし」に参加しました。

8月7日、羽田から佐賀空港まで行きました。その佐賀空港は、オスプレイ17機が配備されました。有事の際、南西諸島に出撃するとき兵員と物資を運ぶためです。

群馬県の参加者で私が一番の年長者でした。高校生とその母親、もう一組が親子で参加されていました。北毛保健生協の代表者も親子で参加できるといいですね。

私は「社保平和バザー」の決意表明で、今平和憲法がないがしろにされている、戦争になってはいやだと思いを述べました。このままの状態では「戦前」になってしまいます。絶対戦争はいけません。『戦争を起こすな』『核兵器をなくせ』。国連憲章と、日本国憲法の平和原則を守り抜き戦争を阻止しましょう。

ノーモア、ヒロシマ！、ノーモア、ナガサキ！、ノーモア、ヒバクシャ！、ノーモア、ウオー！



会場の様子

北毛保健生協 山の会 2025年度後半期計画

初心者・初級から一般向きまでの山行です。楽しく、体を動かし、健康づくりに役立てましょう。

- 10月5日(日) 社山1828m、半月山1753m (栃木県日光市)。一般。中禅寺湖を眺めながらの登山です。
- 11月9日(日) 百蔵山1003m (山梨県大月市)。初級。富士山の眺めが良い山。
- 12月7日(日) 三浦・岩礁のみちと城ヶ島 (神奈川県三浦市)。歩行距離10.3km。浦賀水道や房総半島を眺め、磯遊びを楽しみながらハイキング。
- 1月18日(日) 庚申山189m・崇台山299m (群馬県藤岡市・安中市)。初心者。低山ハイキング。西上州のビューポイントを楽しむ。
- 2月8日(日) 牛臥山491m・桜山591m (群馬県高崎市・藤岡市)。初級。牛臥山からは関東平野が一望。桜山ではロウバイを楽しみます。
- 3月1日(日) 彦谷湯殿山399m (栃木県足利市)。初級。見晴らしの良い低山。

山行に参加するには「生協山の会」に入会してください。(年会費1000円) 山行参加費は3000円から5000円、登山口まではレンタルバス利用。くわしくは山の会山行担当、または事務局までお問い合わせください。申込者には詳しい山行計画書をお送りします。

申込みは、生協組織部事務局 ☎24-2141までお願いします。

インフルエンザ予防接種のお知らせ

実施期間 2025年11月1日から
*満65歳以上市町村助成は1月31日まで
*渋川市中学校・高校3年生相当行政措置助成1月31日まで

*北毛病院、北毛診療所 予約診療の方は、10月1日より診療時に接種可能です。診療予約に併せて予防接種の事前予約も可能です。受付にてお申し込みください。

実施機関

◆北毛病院 (予約なし)

受付時間 13:00～16:00 (第1・3月曜、第2・4火曜、木曜)

	月	火	水	木	金	土
午前	×	×	×	×	×	×
午後	○	○	×	○	×	×

*中学生以下は、北毛病院にて完全予約制(木曜午後)となります。電話での予約が可能です。(予約受付時間14:00～17:00 TEL:0279-24-1234)
*中学生以下で卵アレルギーのある方や1歳未満の方への接種は行いません。
*13歳未満の方は、2回接種が必要となります。

◆北毛診療所 (予約なし)

受付時間 8:30～11:00 (月～土曜、但し第1・3・5水曜不可)

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	×	×	×	×	×	×

料金 65歳以上(市町村による助成があります。居住地により料金が異なります。)
13歳以上65歳未満 1回目3,800円、組合員2,800円
13歳未満 1回目3,800円、組合員2,800円

2回目3,800円、組合員2,800円 (北毛病院・診療所で1回目接種された方)
*13歳以上の方でも、基礎疾患(医師の判断)により2回接種が必要な場合があります。この場合は、13歳未満の料金となります。

2025年7月 加入

森田悦子 (様名)
狩野真澄 (音名)
岡田雅明 (音名)
八木和江 (音名)
登坂晴江 (音名)

笠原君江 (音名) 増資
兵田藤孝 (音名)
田口義孝 (音名)

唐澤崇子 (音名)
飯野上 (音名)
小島好子 (音名)
後藤三子 (音名)
須田綾子 (音名)

北毛保健生協に加入して、健康なくらしを!!

医療講座



新型コロナウイルスワクチンによる予防について 「100人村の物語Part2」

北毛保健生活協同組合 北毛診療所 菅野圭一

A村の人口は100人で、全員が65歳以上、しかも高血圧や糖尿病などの慢性疾患を抱えている体の弱い方々でした。そのため、全員が新型コロナウイルスを3回以上接種してました。

し、今度は「せっかく副反応を心配しながらワクチンを打つたのに、それでも入院してしまった」と責められることになりました。

よる重症化予防効果はある程度長く続いたため、接種率低下による高齢者の重症化率の増加はデータとしては出ていません。しかし、最後の接種から6か月を過ぎると、その効果が徐々に低下することわかっていきます。

秋になるとドクターKが村にやってきました。彼は注射が大嫌いだだったので、村人にワクチンの追加接種を勧めませんでした。その結果、誰も追加接種を受けないまま冬を迎えました。

ちなみに、2023年4月号にも《糖尿病予防について「100人村の物語」》というタイトルで、似たようなタイムマシンの使ったお話を載せましたが、皆さん覚えていらっしゃるでしょうか？今回の話も、ワクチンの重症化予防効果（入院を約6割減らす）以外はフィクションです（もちろん

その時に老人施設などでクラスターが発生し、重症者が増えちゃう——あのデルタ株流行時の悪夢が再び起こらないことを心から願っています。できればワクチンを接種してくれる方が増えると、不安も少し減り、うれしい気持ちになります。

班会紹介 ⑥

小野上支部

小野上支部という「小さな班会」が紹介されます。小さな班会とは、組合員の中には交通手段をもたない人がいて、こういう組合員さんの所に運営委員が出かけていって、班会を開こうというものです。

5回ほど開催しましたが、現在は開かれていません。高齢化が原因と思われる。小野上支部は班会開催が少なく困っていますが、現在は「ウォーキングクラブ」(36名)と「ものづくりクラブ」(32名)の二つを班会として2023年6月に登録しました。

班会ではありませんが、支部旅行も小野上支部にとっては、重要な行事です。強化月間中、大型バスをたてて実施しています。近県で日帰りという適地が少なくなっており困っています。

2015年4月から始まり、虹のネットワークや北毛の中でも話題になりました。近所のおなじみさんを誘って茶話会を開きました。



第1回小さな班会



ウォーキングクラブ(伊香保住宅街コース)



ものづくりクラブ(カステラ・栗茶巾づくり)

北毛保健生協外来医師診療表(2025年9月~)

〔-は休診〕

北毛病院(24)1234

北毛診療所(24)2818

Table with columns for medical departments (内科, 小児科, 外科, etc.) and rows for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土). It lists the names of the attending physicians for each day and time slot.

受付時間: 午前(AM8:30~11:00)、午後(PM1:00~4:00)、夜間(診療科・専門外来により異なります。)、診療時間: 午前(AM9:00~)、午後(PM2:00~)、夜間(診療科・専門外来により異なります。)

注) *定期通院以外の方は、午前AM11:00・午後PM4:00までにご来院下さい。以降の受付の場合は、後日再予約や検査となる場合があります。 *受診の際は保険証またはマイナンバーカード、お薬手帳、紹介状(お持ちの方)等は必ずご持参ください。

北毛診療所 [専門外来] 予約診療となっております。

みんなの 本場



●配布者さん紹介●
北橋支部
生方喜久夫さん
近所の総代さんに頼まれて約5年前から「くらしと医療」を配っています。最近、足腰が弱くなってきました。体調の優れ

私も配っています



ない時は妻に配布をお願いしています。
もっと若い人にかわりをお願いしたいのですが、なかなか難しいようです。
これからも体力の続く限り配布を続けたいと思っています。

わたしの一枚

子持支部 木暮 茂

「読書好きの子供が増えると良いな」という思いから昭和63年1月に「しらさわりんごおはなし会」が誕生しました。会員は女性が中心のボランティア団体です。

この写真は、人形劇「かさ地蔵」の一部で、全ての会員の手作り人形達です。絵本を読む他、7月と12月にイベントを開催。人形劇、ブラックシアター、大型紙芝居、ペープサート、



影絵等を実施。30余の作品を公民館、保育園・幼稚園や小学校等で見ていただいています。

活動紹介



自治体懇談 (榛東村)



自治体懇談 (渋川市)



運動班会 (八木原支部)



折り紙班会 (吉岡支部)



モルック班会 (小野上支部)



レインボー体操班会 (榛東支部)



モルック班会 (赤城支部)



手芸班会 (北橋支部)



前原団地絆班会 (金島支部)



食事班会 (有馬支部)

連絡先 渋川市有馬 237-1 北毛保健生活協同組合
総務部 関口まで TEL 0279-24-1234

北毛保健生協

常勤・パート職員大募集

2026年卒業予定者も歓迎!!

募集している職種

- ①医師 常
- ②薬剤師 常 (2026年卒業予定者)
- ③臨床検査技師 常 (2026年卒業予定者)
- ④看護職員 常・パ
- ⑤看護助手 常・パ (未経験者歓迎)
- ⑥介護職員 八 (ヘルパー常勤)
- ⑦調理 常・パ (未経験者歓迎)
- ⑧リハビリ職 常 (2026年卒業予定者)
- ⑨事務 常 (2026年卒業予定者)
- ⑩事務 常 (現場受け入れ型インターンシップ)